

県民の安心の  
拠り所となる  
病院であること

ko-harubiyori  
VOL. 65

# こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



利用しよう！マイナ保険証



## Index P1-3 利用しよう！マイナ保険証

健康保険証からマイナ保険証へ

P4 診療科紹介「麻酔科」

P5 ドクターズカルテ、研修医紹介

P6 当院の「カイゼン」活動

P7 「愛媛の医偉人」コーナーの紹介

医療安全管理部だより No.56

転入・転出医師 (2024.9.1 ~ 2024.11.30)

P8 連携医療機関紹介～第36回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地

TEL:089-947-1111 2024年11月30日発行



愛媛県立中央病院



# 【健康保険証】から

2024年12月2日から健康保険証は発行されなくなります

## Q 健康保険証はいつまで使えるの？

A 2024年12月2日以降、新規の健康保険証の発行は終了しますが、お手元にある有効な保険証は、最長1年間（※）使用することができます。  
※有効期限が2025年12月1日より前に切れる場合はその有効期限まで。



マイナ受付

## Q マイナンバーカードをなくしたり、手元にない場合は？

A 2024年12月2日以降、マイナンバーカードを紛失・更新中の方やお手元にカードがない方などは、ご本人の被保険者資格の情報などを記載した「資格確認書」が無償交付される予定です。

## 外来でのマイナ保険証の利用について

保険証確認を行っている各ブロック受付、総合受付等にマイナ保険証カードリーダーを設置しています。使い方はとても簡単で、画面の案内に沿って操作していただくだけで本人確認ができます。操作等について不明な点がありましたら、近くのスタッフにお声がけください。

薬の履歴や健診情報のデータ提供に同意していただくと、総合的な診断や重複投薬を避けた処方等が受けられ、治療に役立つことができます。

また、限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

現行の健康保険証が使えなくなる前に、  
マイナ保険証をぜひ利用してみてください。



△ご注意ください！  
今年12月2日から  
現行の保険証は  
発行されなくなります  
※12月2日時点での有効な保険証は最大1年間有効です

とっても  
カンタン！

医療機関等を受診の際は  
**マイナンバーカード**  
をご利用ください

1 受付  
マイナンバーカードを  
カードリーダーに  
置いてください。  
カードリーダーで  
マイナンバーカードを  
保険証として登録  
できます！

2 本人確認  
顔認証または  
4ヶタの暗証番号を入力してください。  
顔認証  
暗証番号  
or

3 同意の確認  
診察室等での診療・服薬・健診情報の  
利用について確認してください。

4 受付完了  
お呼びするまでお待ちください。  
カードを忘れずに！

マイナンバーカードを保険証として利用する（マイナ保険証）  
ための登録がまだの方は、以下2つの準備をお願いします。

STEP1. マイナンバーカードを申請

■申請方法は選択可能です

① オンライン申請  
(パソコン・スマートフォンから)  
② 郵便による申請  
③ まちなかの  
証明写真機からの申請

STEP2. マイナンバーカードを  
保険証として登録

■利用登録の方法

① 医療機関・薬局の受付  
(カードリーダー)で行う  
② 「マイナポータル」から行う  
③ セブン銀行ATMから行う

マイナンバーカードを使うメリット

より良い医療を受けることができる  
過去のお薬情報や健康診断の結果を見られるようになるため、身体の状態や他の病気を推測して治療に役立てることができます。  
また、お薬の飲み合わせや量を調整してもらうこともできます。事故や災害時にも、お薬情報を共有されて安心です。

手続きなしで高額療養費制度における限度額を超える支払を免除

限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

大切なお知らせ

- 本年12月2日の時点でお手元にある有効な保険証は、12月2日以降、**最長1年間(来年12月1日まで)**使用可能です。
- 本年12月2日以降、マイナ保険証を保有していない方には、**お手元にある保険証が使えなくなる前に、申請いただくことなく「資格確認書」**が交付され、引き続き、**医療機関・薬局等を受診することができます**。
- マイナ保険証をお使いの場合は、**マイナンバーカードの券面にある電子証明書の有効期限をご確認**の上、期限切れにご注意下さい。  
※券面に記載がない場合は、発行から5回目の誕生日までです。  
マイナポータルでも確認できます。

マイナバーカード  
0120-95-0178  
5番を押すのみ、音声ガイダンスにしたってお読みください。  
受付時間(年中無休)  
平日: 9時30分～20時00分  
土日祝: 9時30分～17時30分

マイナバーカードの  
保険証利用について  
もっと知りたい方は  
こちら

QRコード  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 【マイナ保険証】へ



## マイナ保険証カードリーダー設置場所

### 診療棟 2階



### 診療棟 1階



## 診療科紹介 麻酔科



麻酔科は、麻酔・集中治療・ペインクリニックの診療に携わっています。

### ●麻酔

全身麻酔が必要な手術の麻酔を主に担当しています。また、脊髄くも膜下麻酔や区域麻酔で手術可能な症例においても、帝王切開や併存疾患が重篤な症例の麻酔を担当しています。新生児から100歳を超える超高齢者まで、稀な疾患や重篤な併存症を持つ患者さんの麻酔にも対応します。

麻酔科では、手術を受ける患者さんが、より安全で、より苦痛が少なく、より早く離床できる麻酔・周術期管理を心掛けています。術前診察では、入院サポートセンターと協力して術前カルテ診察、外来での術前診察及び麻酔担当医による診察を行っています。3人の麻酔科医がチェックすることで、術前リスクの見落としを低減し、安全な周術期管理ができるようにしています。実際の麻酔においては、神経ブロックや硬膜外麻酔、麻薬の持続点滴などを併用した多角的鎮痛法により痛みの緩和を図り、ICUでは術後早期離床プログラムを適用した早期離床に取り組んでいます。

また、当院の麻酔科管理の20~25%が緊急手術です。複数の緊急手術が重なることが多いのですが、迅速に対応できるように努めています。

### ●集中治療

集中治療は矢野医師を中心に、ICUで主に術後の集中治療を担当しています。  
また、院内で重症化した症例の集中治療にも携わっています。



### ●ペインクリニック

ペインクリニックは、武田医師を中心に、院内から紹介された患者さんの痛みの治療をしています。癌性や良性の難治性の痛みに対して、薬剤治療のほか、各種の神経ブロックや高周波熱凝固などを用いて痛みの緩和をしています。また、顔面けいれん等へのボトックス注射も行っています。

麻酔科は、手術室、ICU、入院サポートセンター、ペインクリニック外来のスタッフとともに周術期や重症例の早期回復を図り、痛みで困っている患者さんの痛み緩和を行い、各診療科医師の診療の一助になることができるよう努めてまいります。



▲ICU医師・看護長



▲ペインクリニック医師・外来看護師



当院の  
ドクターを  
紹介します

# ドクターズカルテ

Doctor

糖尿病・内分泌内科

おかもと  
岡本

まさし  
全史医師

糖尿病・内分泌内科の岡本全史と申します。出身は愛知県です。愛媛大学を卒業後、愛媛大学医学部消化器内分泌代謝内科に所属し、愛媛県内で糖尿病・内分泌診療に従事、2024年より当院に勤務しています。

専門は糖尿病・内分泌内科疾患です。よろしくお願ひいたします。

私生活では育児に奮闘しており、休日には一緒に公園に行くなどして日々子どもの成長を感じています。写真は家族で海水浴に行ったときのものであり、子どもの泳ぎが予想以上に上達していることに驚かされました。子どもとともに自身も成長していきたいと思っております。



▲糖尿病・内分泌内科メンバー（左上：岡本医師）



▲家族で海水浴



## 当院の研修医を紹介します

1年次研修医 堤 俊也医師  
Resident

### 仕事以外の過ごし方を教えてください。

仕事終わりにはよく水泳やサイクリングを行い、心身ともにリフレッシュしています。休日には趣味の釣りに出かけています。学生時代はよくハマチなどを釣りに行っていましたが、松山に来てからはイカ釣りを始めました。現在、愛媛県の釣り場を開拓中です。

### 日頃気を付けていることは何ですか？

普段の生活では、食生活に気を付けています。

社会人になり、時間も無くなることで食生活が乱れる人も多いと思いますが、健康でいられるよう夕食は自炊し、塩分、カロリー、栄養価などバランスの良い食事となるよう心掛けています。

### 長所を教えてください。

サッカーを20年ほど続けており、体力には自信があります。しっかりと初期研修の2年間を過ごし、その経験を3年目以降に活かしていきたいと考えています。



▲ヘリポートでの撮影



▲休日は趣味の釣りに出かけています

# 海外21か国から、当院の「カイゼン」を学びに来られました

改善推進本部長 名和 由一郎

## 皆さんは「カイゼン」という言葉をご存知ですか？

「カイゼン」とは、日々の仕事や作業プロセスをより効率的で安全なものにするために改善する活動のことです。もともとは製造業で広く使われており、特に自動車業界のトヨタが「カイゼン」によって世界的に有名になりました。

トヨタは、この「カイゼン」活動を通じて、世界トップクラスの品質管理を実現しているのです。

「カイゼン」活動には、3M（ムリ・ムダ・ムラの削減）や5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）といった具体的な取り組みが含まれており、現場の問題を現場で解決するボトムアップの方法も重要です。これらの方法は、製造業だけでなく、医療分野にも応用されています。私たちの病院でも、2012年に改善推進室を設立し、医療の現場で「カイゼン」活動を進めてきました。今では、病院全体の文化として定着しています。

2024年7月に、JICA（独立行政法人 国際協力機構）の依頼で、海外21か国から医師や看護師、検査技師の方々が当院の「カイゼン」活動を見学に来られました。

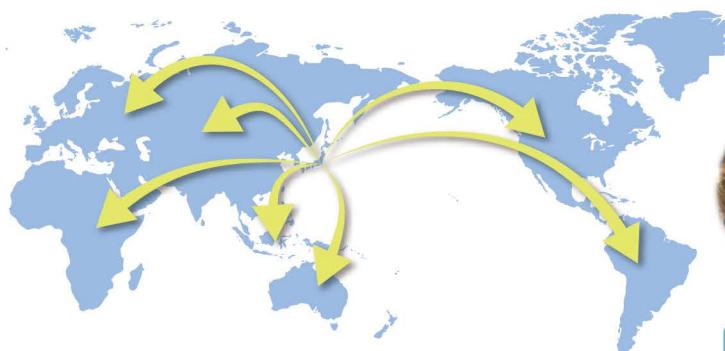
JICAでは、5Sやカイゼンを取り入れた日本型の医療改善手法について研修を行っており、実践している研修施設に当院が選ばれました。

研修員の方々には、救命救急外来や手術室、検査室などの現場を見学していただき、当院の「カイゼン」活動の実際を体感していただきました。参加者からは「日本の医療現場を見学できて、今日が一番学びの多い日だった」「病院を清潔に保つことはコストもかからず、職員の意識が変わればできそうだ」という感想をいただきましたなど、大変好評でした。

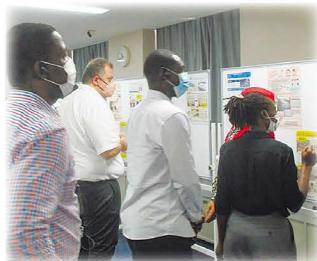
「カイゼンに終わりはない」といわれるよう、今後も私たちはさらなる向上を目指して活動を続けていきます。



▲中西院長と記念写真



NHKに取材されました！



▲ワンポイント改善事例の紹介



▲手術室での説明



▲初療室での説明



▲検査室での説明

## いいひと 「愛媛の医偉人」コーナーのご紹介

皆さん、医療界で有名な愛媛に縁のある偉人をご存知ですか。このコーナーでは、そんな「愛媛の医偉人」を取り上げ紹介していきます。院内の総合案内から図書コーナーに進んださらに先の壁に特設パネルを設置していますので、是非ご覧ください。



## まなべ かいちろう 眞鍋嘉一郎

(1878年8月8日～1941年12月29日)



橋本神社所蔵・愛媛県  
生涯学習センター提供

西条市大町出身。

西条町積善小学校・拓善学校、愛媛県尋常中学校（現・県立松山東高等学校）、第一高等学校・東京帝国大学医学部（現・東京大学）卒業まで常に首席であった。

医師になった後も、その妥協を許さない直情径行な性格から「不遇をもって鳴る大家」といわれたが、1926年に内科物理療法講座を開設し、内科の治療にエックス線、ラジウム鉱泉電気治療などを導入した。医療技術の発展に尽力し、日本のレントゲン学（現在の医学放射線学科）、アレルギー学、理学療法、温泉療法の先駆者となった。また、東大教授でありながら博士号を持たない初例で、学位より臨床に重きを置いた。

「医学の最後の目的は治すこと」という信念をもつ眞鍋のもとには、夏目漱石、浜口雄幸など多くの著名人が患者として診察に訪れた。

生涯にわたる座右の銘は、「人一度すば、我十度す。人十度すば、我百度す」であった。

No.56

医療安全管理部だより

## 抗がん剤って誰がどのように準備しているの？

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、毎日多くの患者さんが治療に来られます。抗がん剤は、診療棟2階の「外来化学療法室」という専用の部屋で投与されます。

薬剤師は、患者さんの治療前日までに、治療スケジュールや投与量を確認して、抗がん剤を正しくセットします。

抗がん剤を調製するときは、右の写真のような個人防護具を着用して、「安全キャビネット」と呼ばれる医療機器の中で行います。

抗がん剤は患者さんによって投与量が違うため、間違いがないように、必ず薬剤師2名でダブルチェックを行なっています。



▲個人防護具



▲安全キャビネット



## 転入・転出医師 (2024.9.1～2024.11.30)

▶  
転入

所属	氏名	専門
救急科	斎藤 美瑛	専攻医
麻酔科	吉良 美香	専攻医
消化器内科	大濱 日出子	消化器疾患（特に肝疾患・肝癌）
消化器内科	加藤 佳夏子	専攻医
循環器内科	香西 祐樹	循環器全般
循環器内科	山口 宗祥	専攻医
耳鼻咽喉科	林 祐志	頭頸部外科（頭頸部癌）
病理診断科	柿本 拓海	外科病理一般

▶  
転出

所属	氏名
麻酔科	池田 彩夏
産婦人科	中橋 一嘉
消化器内科	村上 大晟
消化器内科	福本 真惟
呼吸器内科	宗石 翔
血液内科	宗石 愛花
脳神経外科	柴垣 慶一
循環器内科	日野 華子
耳鼻咽喉科	宮地 祥多
病理診断科	住田 智志

# 連携医療機関紹介～第36回～

## 救急・在宅 シャイニークリニック

■所在地 松山市畠寺2丁目4-39

■TEL 089-947-1555

■診療科目 内科・救急科

■外来診療時間 休診日 火曜・金曜・土曜・祝日の翌診療日

	月	火	水	木	金	土	日/祝
10:00~12:00	○	×	○	○	△	×	○
13:00~17:00	△	×	△	△	×	×	×
18:00~22:00 (受付は21:30まで)	○	×	○	○	×	×	○

※△…訪問診療

【病院の概要】夜間のちょっとしたケガや風邪、大きな病院に行くほどではないけれど…という症状、昼間の受診は我慢したけれどやっぱりちょっと診ておいて欲しい症状がある等、祝日・夜間に開いているクリニックがあつたらいいな、を実現します。また、外来通院が困難な方、なるべく自宅で最期を迎える方に、訪問診療、往診、看取り対応いたします。

【病院の特徴】2023年2月、愛媛県初の私営の救急クリニックとして新規開業しました。院内には様々な検査機器があり、緊急治療が必要かの検査をすることが可能です。また、軽度の創傷処置、特殊な技術や設備を要しない処置は可能であることが特徴です。集中治療にも従事してきた経験を活かし、自宅で最期を迎えることを希望している方の急変時に、ご家族が慌てないよう症状や対応方法などを具体的に説明し、患者様やご家族の希望に沿った医療の提供をいたします。診察・検査結果上、必要時は速やかに高次機能病院に紹介し、適した治療を受けられるように努めています。



## おかだ耳鼻咽喉科

■所在地 松山市土居町805-1

■TEL 089-993-8433 ■FAX 089-993-8422

■診療科目 耳鼻咽喉科

■外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30 (受付は12:00まで)	○	○	○	○	○	○	×
14:00~18:30 (受付は18:00まで)	○	○	×	○	○	×	×

【病院の概要】2024年1月に開院しました。松山IC近くに位置し、愛媛県全域から受診しやすい立地です。医師1名、言語聴覚士4名、看護師4名で診療を行っています。

【病院の特徴】これまで、愛媛大学、愛媛県立中央病院で従事してきた経験を活かし、特に「めまい」「難聴」といった耳科診療に力を入れています。県内の耳鼻咽喉科クリニックでは初めて、言語聴覚士が在籍しており、補聴器診療、聴覚リハビリ、構音リハビリなどにも対応しております。VRゴーグルを用いた眼球運動検査機器、重心動搖検査、CTなどの検査機器を揃え、より専門的な医療を気軽に受診できるように心がけております。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時紹介させていただきます。  
(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

